

### くらしサポート歩行車 スムーディ〈室内用〉 家庭用

品番 PN-L70201

# スムーディ



## もくじ

安全上のご注意	2
使用上のお願い	4
各部のなまえ	5
使用前の準備	6
使いかた	8
お手入れのしかた	9
保管方法	9
こんなときは	10
故障かな?と思ったら	12
製品の長期使用について	12
仕様	13
保証とアフターサービス	14

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



保証書付き

# 安全上のご注意


必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--

## 警告

転倒、破損、けが  
などを防ぐために



### 使用する際は



- 小さなお子様には使用させない
- 滑りやすい（ぬれたところ、ワックスを掛けた床、大理石の床など）場所で使用しない
- グリップ以外の場所を持って歩行しない  
車体が転倒し、けがの原因

- トレイには熱いものを載せない  
やけどの原因

- 体重 100kg を超える方は使用しない  
変形・破損や転倒によるけがの原因

- 段差や傾斜は十分注意する  
また、急な勾配の傾斜では使用しない  
バランスをくずし、転倒やけがの原因



- 認知症や体の不自由な方など自分で適切に操作できない方には介助者が付き添う  
事故やけがの原因

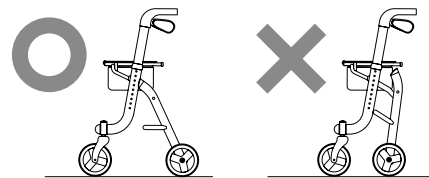
- 車体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止する  
転倒やけがの原因

- ブレーキは左右同時にかける  
車体が転倒し、けがの原因



- 車輪に異常がないことを確認する
- ガタつきなくまっすぐに走ることを確認する
- 前輪と後輪が完全に開き展開されていることを確認する

バランスをくずし、転倒やけがの原因



- 高さ調節後、グリップの高さが同じであることを確認する

左右のグリップ高さが異なると車体が転倒し、けがの原因

- ブレーキ、駐車ブレーキが左右両輪とも正しく作動することを確認する  
ブレーキが利かず、転倒やけがの原因

- タイヤおよびブレーキに摩耗がないことを確認する

ブレーキが利かず、転倒やけがの原因  
→劣化している場合は速やかに修理（交換）を依頼してください。

### 保管・保守点検について



- 分解、改造、修理は行わない  
性能低下による事故の原因

## ⚠ 注意

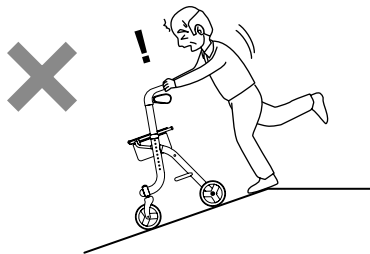
転倒、破損、けが  
などを防ぐために



### 使用する際は



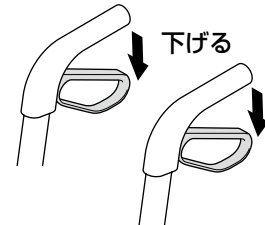
- 屋外では使用しない  
転倒やけがの原因  
この製品は屋内専用歩行車です。
- 想定安全使用期間（5年）を超えて使用しない  
破損してけがの原因
- 浴室で使用しない  
破損やけがの原因
- ブレーキレバーを握った状態、および駐車ブレーキをかけた状態で歩行しない
- グリップを手すりの代わりに使用しない
- バスケットには5kg以上の荷物を入れない  
バランスをくずし、転倒やけがの原因
- 傾斜のある場所では駐車しない  
意図せず動き、転倒やけがの原因  
→やむを得ない場合は動かないように十分に注意してください。



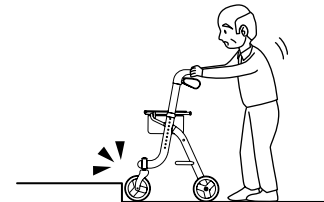
- トレイやバスケットには乳幼児やペットを乗せない  
転倒やけがの原因
- グリップに寄りかかったり、荷物を吊り下げたりしない  
バランスをくずし、転倒やけがの原因
- トレイやバスケットの上に体重をかけたり、乗ったり、座ったりしない  
トレイやバスケットが破損し、けがの原因



- 各部のねじやナットにゆるみがないか確認する  
転倒やけがの原因
- 車体から離れるときは必ず駐車ブレーキをかける  
転倒やけがの原因  
→車体が不意に動かないよう、左右両輪が止まっていることを確認してください。



- グリップ・ブレーキレバーは両手で操作する
- 段差や溝の手前では必ず止まり、段差を越える  
バランスをくずし、転倒やけがの原因



- 歩行車を持ち上げて移動させるときは、グリップを持つ
- グリップとブレーキレバーの間には指を挟まないように注意する
- トレイの上に載せたものが倒れないように注意して歩行する  
けがの原因

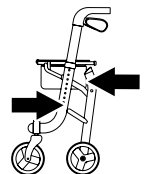
### 保管・保守点検について



- 保管時、横積みしない  
落下し、けがをするおそれ
- ブレーキパッド、前輪、後輪には注油しない  
ブレーキが利かなくなり、転倒やけがの原因



- 歩行車を開閉するとき、指を挟まないよう注意する  
けがの原因



# 使用上のお願い

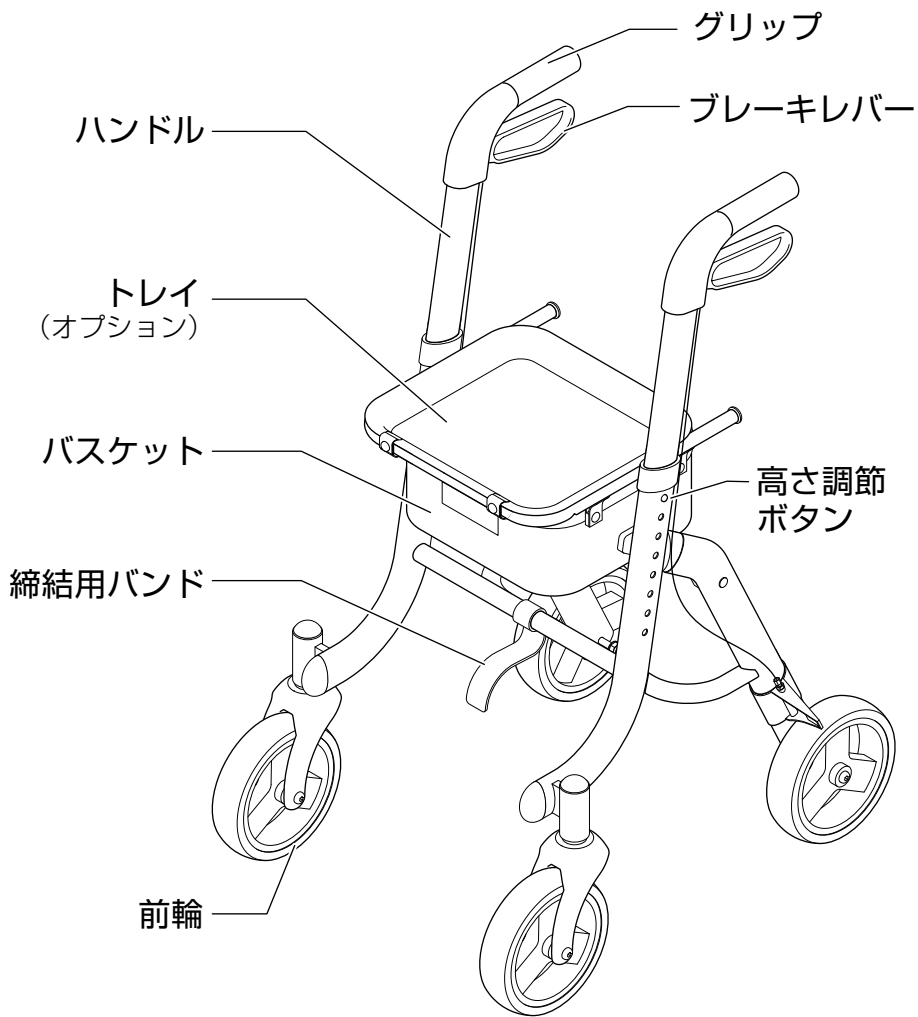
## 本体について

- **グリップに全体重をかけない**  
故障や変形の原因
- **車輪にヒモなどが巻き付いていないか確認する**  
巻きついていた場合は、手を挟まないように気を付けて取り除いてください。
- **車輪にほこりなどのごみがついている場合は、拭き取ってから使用する**
- **駐車ブレーキを解除したとき、後輪がスムーズに回転することを確認する**  
ブレーキパッドが後輪に干渉する場合は、ブレーキの調整をしてください。(10 ページ参照)
- **ブレーキワイヤーが足に接触しない位置まで曲げる**  
ブレーキワイヤーが足に接触する場合は、屈曲のくせを直して使用してください。

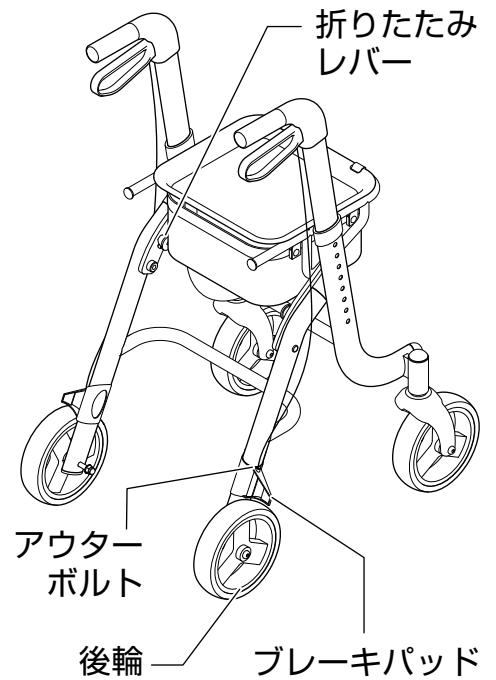
## トレイ・バスケットについて

- **トレイには 3kg 以上の荷物を載せない**  
故障や変形の原因
- **トレイがガタつかないことを確認する**  
歩行中にトレイが外れたり、トレイの上に載せた物が倒れる原因
- **食品は必ずお皿やお椀などを使用しトレイに載せる**  
トレイは食品を直接置くものではありません。
- **トレイを直火、電子レンジ、オーブン、食器洗い乾燥機では使用しない**  
変形や破損の原因
- **トレイの汚れを長時間放置しない**
- **バスケットには鋭利なものを入れない**  
破損や故障の原因

# 各部のなまえ



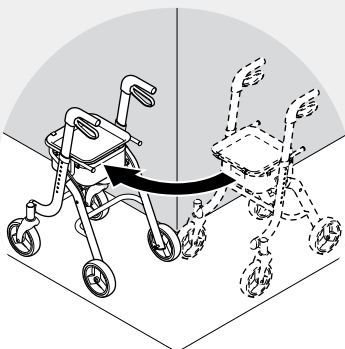
## 後ろから見た図



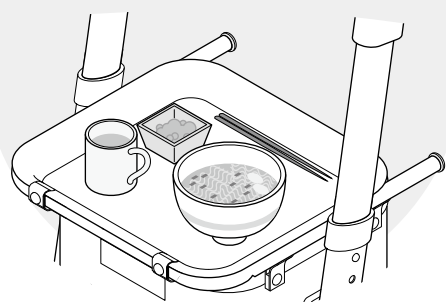
## 室内での移動を楽しく！もっと快適に！

室内専用の歩行車です。  
歩行の安全性を高め、小物を一緒に運べるトレイやバスケットを搭載しています。

せまい場所でも  
**小回りラクラク!!**



物が置きやすく  
**運びやすい!!**



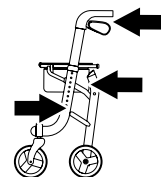
# 使用前の準備

## 車体の展開・折りたたみ

### お願い

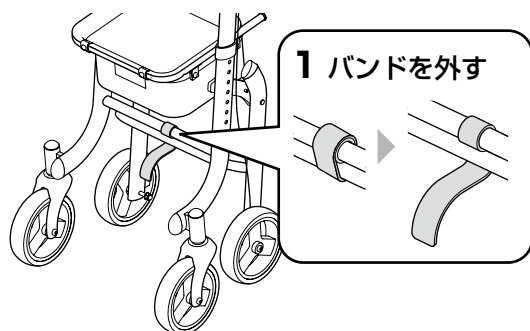
- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用してください。
- トレイに物を載せた状態で、折りたたまないでください。

- 指などをは挟まないように注意してください。
- 折りたたみ時に締結用バンドで固定したことを確認してください。
- 締結用バンドで固定したまま車体を開いたり、ハンドルに荷重をかけたりしないでください。



### 展開

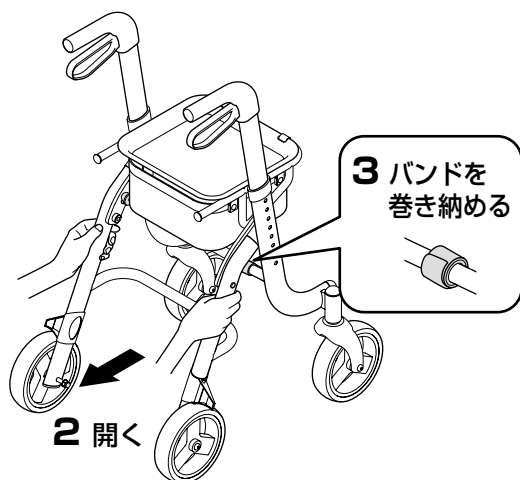
#### 1 締結用バンドを本体から外す



#### 2 車体を開く

※体重をかけて車体に寄りかからないでください。  
転倒のおそれがあり危険です。

#### 3 締結用バンドを巻き納める

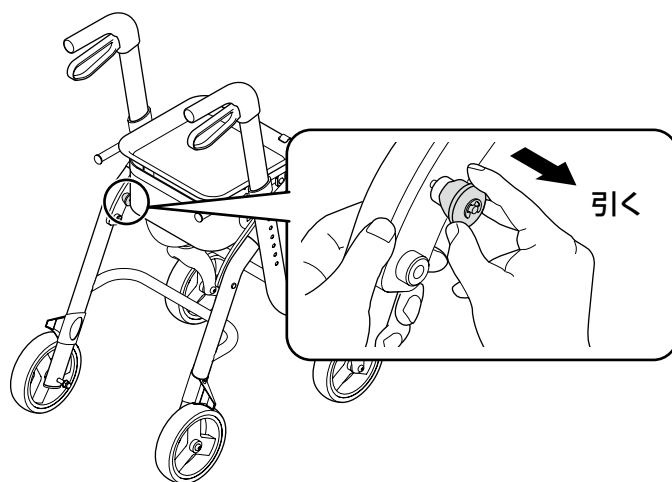


### ⚠ 警告

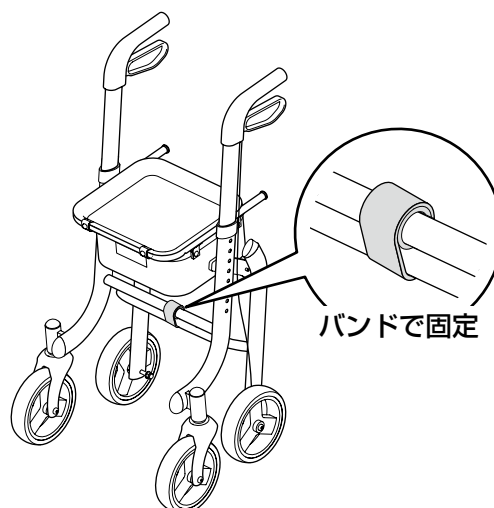
- 前輪と後輪が完全に開き固定されているかどうか確認する  
バランスをくずし、転倒やけがの原因

### 折りたたみ

#### 1 折りたたみレバーを引きながら、車体を折りたたむ



#### 2 締結用バンドで本体を固定する



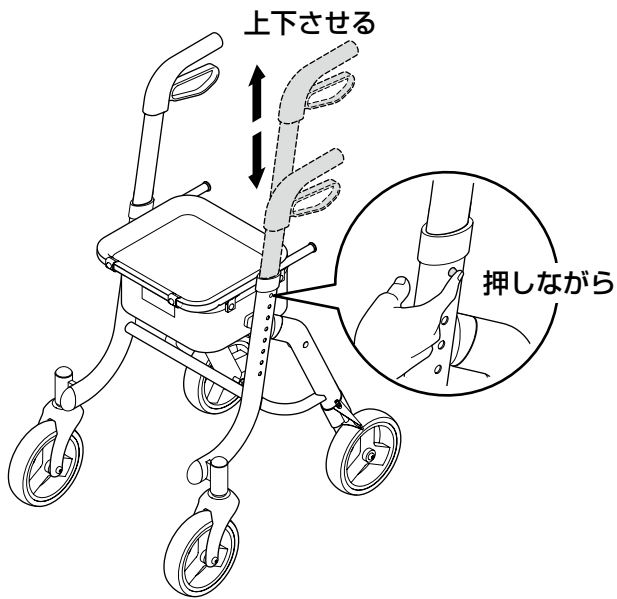
## ハンドルの高さを調節する

### 高さ調節ボタンを押しながら、ハンドルを上下させる

2.5cm ごとに 8 段階の調節ができます。

使用者の身長に合わせて高さを調節してください。

高さ調節ボタンが飛び出し、ハンドルが固定しているか確認してください。



### 警告

- 高さ調節後、グリップの高さが同じであることを確認する  
左右のグリップ高さが異なると車体が転倒し、けがの原因

# 使いかた

左右のグリップを握って、ゆっくり歩行してください。

## 警告

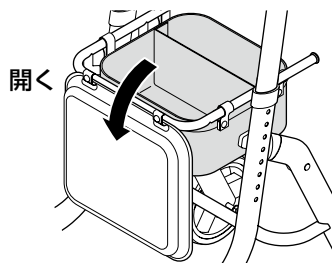
- グリップ以外の場所を持って歩行しない
- ブレーキは左右同時にかける  
車体が転倒し、けがの原因
- トレイには熱いものを載せない  
やけどの原因

### トレイに物を載せる

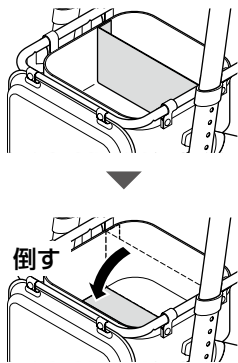
- トレイに物を載せられます。  
(耐荷重 3 kg)

### 荷物を入れる

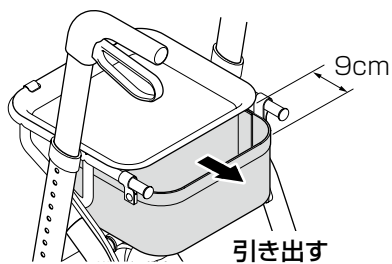
- バスケットに荷物を入れられます。  
(耐荷重 5 kg)



- 中の仕切り板を倒して使えます。



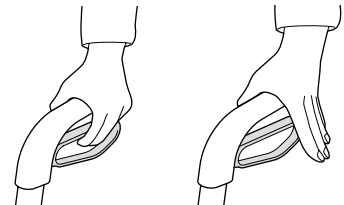
- 仕切り板まで引き出して使うこともできます。



### ブレーキをかける

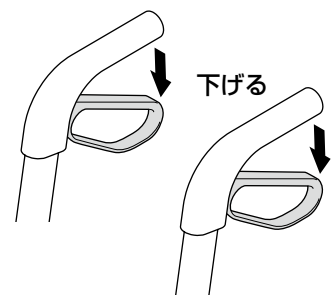
- グリップを持ちながら、  
左右のブレーキレバーを同時に握るとブレーキがかかります。
- 解除するときは指をはなしてください。

握る ←...→ はなす



### 駐車する

- ブレーキレバーを下げると、  
後輪が固定されます。  
必ず左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 解除するときはグリップと  
ブレーキレバーを一緒に握ってください。





# お手入れのしかた

安全のため、定期的にお手入れをお願いします。

## 月1回以上こまめに

### ●ぬれたときは

乾いた布で拭き取ってください。

### ●汚れやほこりがついたときは

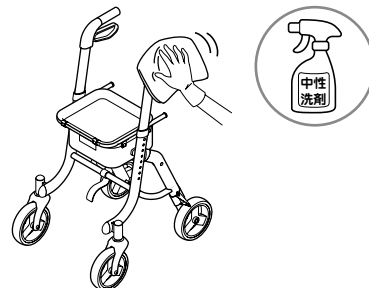
水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。

### ●バスケットの汚れは

水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。  
バスケットは洗濯機や手洗いなどで水洗いしないでください。

### ●汚れ・サビがひどい場合は

中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取ってください。  
その後、水につけた布で洗剤を拭き取り、よく乾かしてください。  
(サビがひどく落ちない場合は、12ページの「故障かな?と思ったら」をご確認ください。)



### お手入れに次のものを使用しないでください

プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。

- ・シンナー・クレゾール・熱湯・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒・磨き粉
- ・塩素系洗剤・酸、アルカリ性洗剤・タワシ・研磨剤入りのスポンジ
- ・その他製品を傷つけるもの

### 消毒に次のものを使用しないでください

- ・オゾンガス・ホルムアルデヒドガス

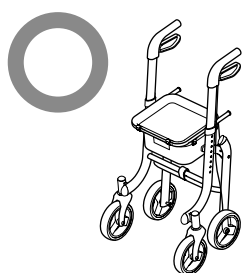


# 保管方法

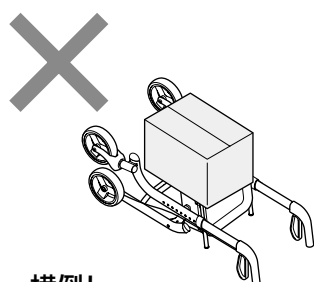
屋内で保管してください。

長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。

また駐車ブレーキをかけずに保管してください。



折りたたんで保管



横倒し、  
荷重をかけたまま保管

### お願い

- 圧力が加わる状態で保管しないでください。
- 火気に近づけないでください。
- 夏季の車内など高温になる場所には保管しないでください。  
(変色や劣化および破損の原因)
- 屋外放置したり、直射日光に長時間当てたりしないでください。  
(故障や変形の原因)

# こんなときは

## ブレーキの調整

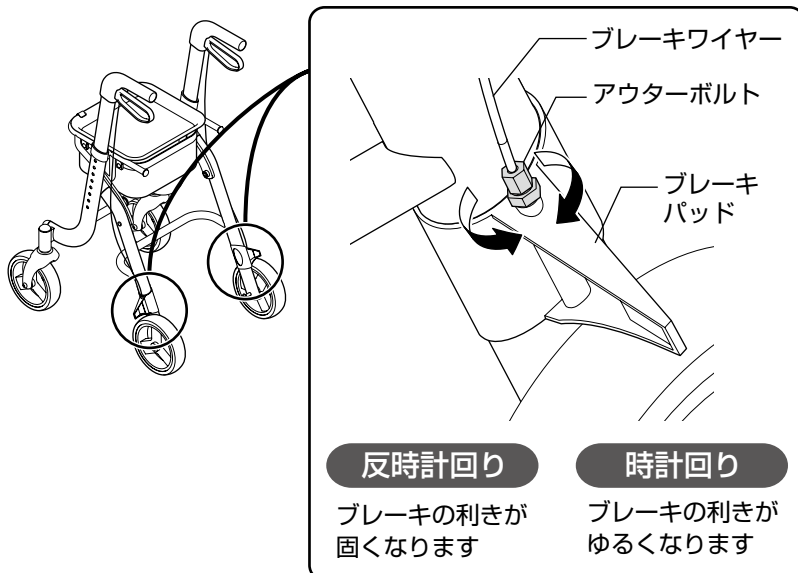
ブレーキの利き方に不都合があるときは、以下の手順で調整してください。  
アウターボルトは左右にあります。必要に応じてそれぞれを調整してください。

### 1 駐車ブレーキを解除する

8 ページ参照。

### 2 アウターボルトを回して、 ブレーキの固さを調整する

(6mm のレンチを使用してください。)

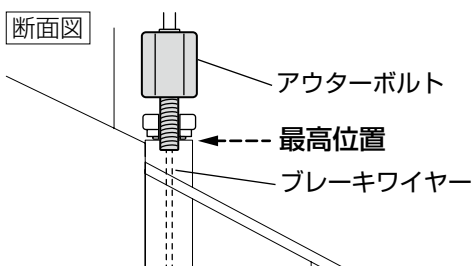


### 警告

- ブレーキ、駐車ブレーキが左右両輪とも正しく作動することを確認する  
ブレーキが利かず、転倒やけがの原因

### それでも直らない場合

アウターボルトが最高位置に達しても直らない場合、右記の手順でブレーキワイヤーを調整してください。



※この調整方法は、アウターボルトでの調整ができない場合のみ行ってください。  
通常の微調整は、アウターボルトで調整してください。

※調整後、ブレーキワイヤーが足に接触しない位置まで曲げてください。  
ブレーキワイヤーが足に接触する場合は曲げ直してご使用ください。

### 1 ハンドルを最大高さにする

7 ページ参照。

### 2 アウターボルトを最低位置まで回す

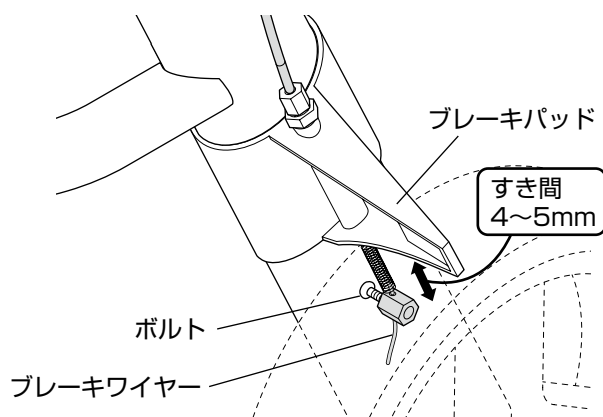
### 3 内側の六角ナットをレンチで固定しながら ボルトを反時計回りに回してゆるめる

(6mm のレンチを使用してください。)

### 4 ブレーキワイヤーをペンチなどで引っばる

車輪とブレーキパッドのすき間を 4 ~ 5mm に調整してください。

### 5 ボルトを時計回りに回して締める



### 6 調整後、必ず走行とブレーキの利き方を確認をする

## ⚠ 警告

- タイヤおよびブレーキに摩耗がないことを確認する  
ブレーキが利かず、転倒やけがの原因  
→劣化している場合は速やかに修理（交換）を依頼してください。

## ⚠ 注意

- ブレーキパッド、前輪、後輪には注油しない  
ブレーキが利かなくなり、転倒やけがの原因

## 注油

- きしみ音が発生したり作動が鈍い時は、泥や汚れを拭き取ってから原因の箇所に少量のシリコン系潤滑油を注油してください。
- タイヤ、ブレーキパッドに油がつかないように注意し、もし付着した場合はよく拭き取ってください。

## タイヤの交換

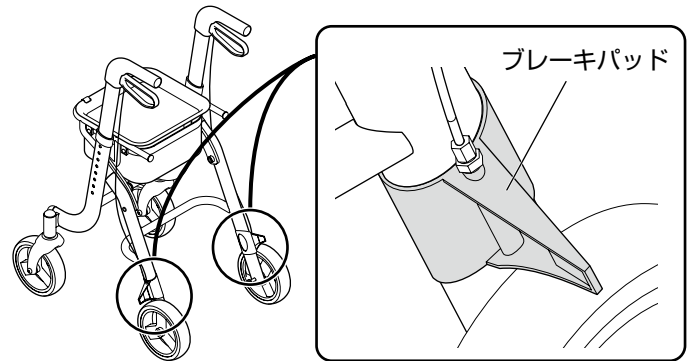
- 目視により明らかな摩耗が見られる場合は交換してください。
- タイヤのガタつきが発生した場合は交換してください。

※タイヤ交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

## ブレーキパッドの交換

- 目視により明らかな摩耗が見られる場合は交換してください。
- ブレーキの利きが低下した場合は交換してください。

※ブレーキパッドの交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。



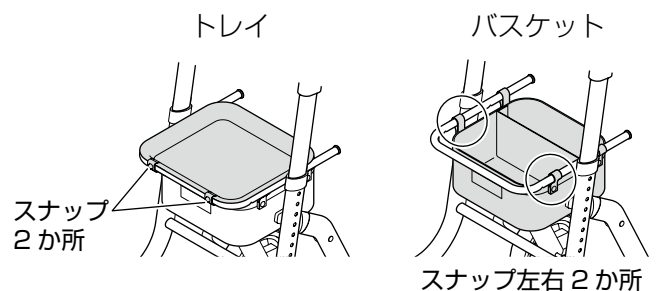
## トレイ、バスケットの取り外し・取り付け

### 取り外しかた

- 1 スナップ(2か所)を外してトレイを取り外す
- 2 スナップ(左右2か所)を外してバスケットを取り外す

### 取り付けかた

- 1 バスケットをパイプの左右にスナップ(左右2か所)で装着する
- 2 トレイをパイプの前面にスナップ(2か所)で装着する



# 故障かな？と思ったら

下記の確認と処置をお願いします。

処置後なお異常がある場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
タイヤがガタつく	▶ タイヤがすり減っていませんか？	▶ 販売店に連絡してタイヤを交換してください。	—
ブレーキの利きが悪い	▶ ブレーキ操作中、ブレーキパッドが車輪内側にしっかり当たっていますか？	▶ 適切な位置にブレーキパッドがくるように調整してください。	10
走行操作が重い	▶ 車輪にゴミやビニールが挟まっていますか？	▶ 挟まっているものを取り除いてください。	—
高さ調節ができない	▶ 高さ調節ボタンが劣化していませんか？	▶ 販売店に連絡してハンドルを交換してください。	—
サビが付着している	▶ めれた状態で放置した	▶ 販売店に連絡し部品を交換してください。	—

※高さ調節ボタンには鉄製材料を使用しています。耐腐食の表面処理を施していますが、完全にサビを防止するものではありません。

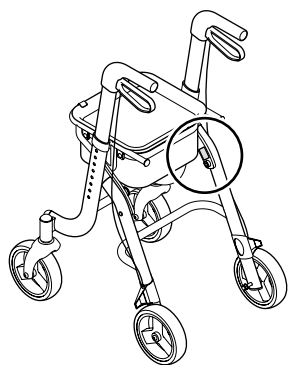
ハンドル部にサビが発生している場合は、高さ調節ボタンの内部にもサビが発生している可能性があります。そのまま使用すると高さ調節ボタンが破損するおそれがありますので、ハンドルの交換を行ってください。

## 製品の長期使用について

### 1. 本体表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月を本体に表示しております。

(本体フレームに記載しています。)



### 2. 想定安全使用期間とは

一般家庭用にてご使用いただく、くらしサポート歩行車 スムーディ〈室内用〉において、標準的な条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。

※一般家庭以外（病院、施設など、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

### 3. 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

#### 【想定安全使用期間】

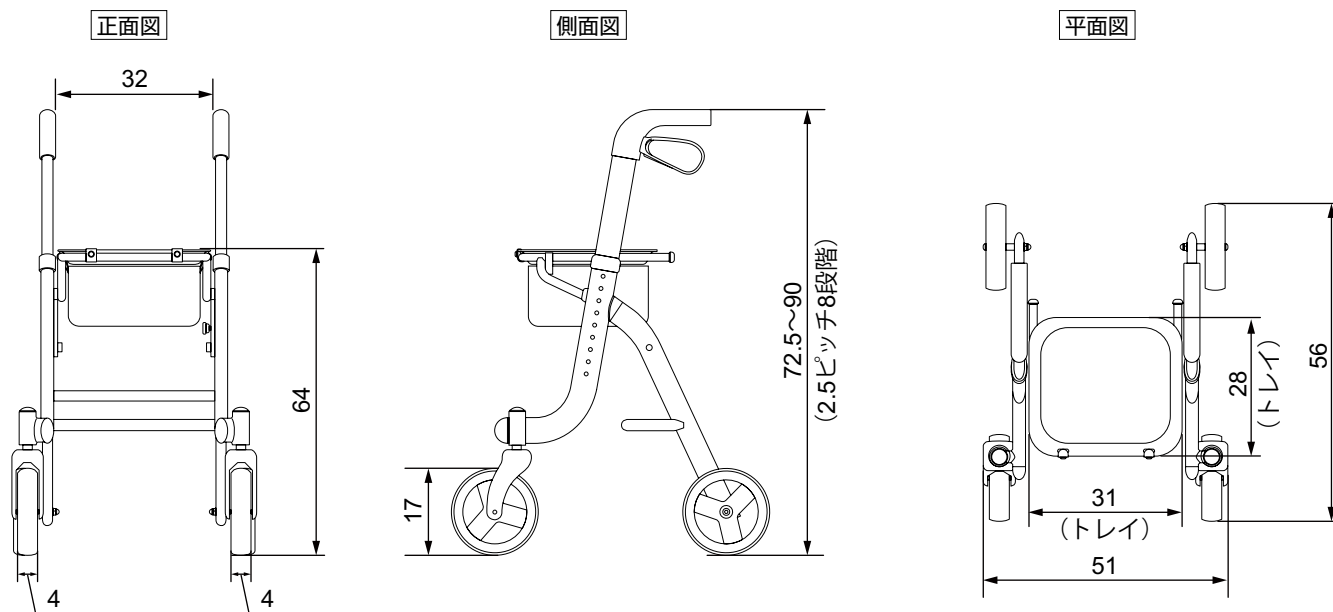
#### 5年（一般家庭にて使用いただく場合）

想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるけがなどの事故に至るおそれがあります。

# 仕様 (寸法単位：cm)

製品名	くらしサポート歩行車 スムーディ 〈室内用〉	
製品品番	PN-L70201	
重量	5.7 kg	
サイズ	組み立て寸法	幅 51 × 奥行 56 × 高さ 72.5 ~ 90
	折りたたみ寸法	幅 51 × 奥行 39 × 高さ 77
	グリップ高さ	72.5 ~ 90 (2.5ピッチ 8段階)
	トレイ高さ	64
	バスケット容量	7 L
材質	フレーム	アルミニウム
	トレイ	ABS
	バスケット	ナイロン
	タイヤ	EVA
	グリップ	PVC
最大使用者体重	100 kg	
トレイ・バスケットの積載荷重	トレイ：3 kg / バスケット：5 kg	

## 商品寸法図



# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・  
修理などのご相談は

■ まず、お買い上げの販売店へお申し付け  
ください。

● お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名
電話
お引き渡し日                      年                      月                      日

■ 保証書

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、  
お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 1 年間  
(ただし、トレイ、グリップ、前輪、後輪は対象外)

■ 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、  
製造打ち切り後、5年保有しています。

修理を  
依頼されるとき

■ まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ ご連絡いただきたい内容

①品名
②品番
③お引き渡し日
④異常の状態（できるだけ具体的に）

【出張修理対象商品】

● 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理を  
させていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる  
場合は、ご要望により修理させていただきます。

● 修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用です。

【部品代】 修理に使用した部品および補助材料代です。

【出張料】 お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品・お取り扱いなどのご相談は  
**パナソニック エイジフリー株式会社**  
**0120-365887**  
●受付時間 9:00～12:00 (土、日、祝日休み)  
13:00～17:00  
<https://sumai.panasonic.jp/agefree/products/>

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、  
ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。  
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。  
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック エイジフリー株式会社

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

©Panasonic AGE-FREE Co.,Ltd. 2023